

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東大

上場会社名 日立金属株式会社

コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 持田 農夫男

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長 (氏名) 釜谷 和嗣

四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

TEL 03-5765-4075

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	175,599	—	15,421	—	17,425	—	8,670	—
20年3月期第1四半期	172,371	13.4	12,538	1.8	13,469	11.1	8,590	67.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	24.59	—
20年3月期第1四半期	24.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	626,010	—	240,969	—	35.0	620.98
20年3月期	619,466	—	235,507	—	34.4	604.22

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 218,919百万円 20年3月期 213,026百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	349,000	—	28,000	—	26,400	—	13,400	—	38.01
通期	710,000	1.3	61,000	2.2	57,600	5.8	29,700	9.9	84.25

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 366,557,889株 20年3月期 366,557,889株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 14,020,680株 20年3月期 13,996,744株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 352,547,583株 20年3月期第1四半期 354,158,655株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年4月30日公表の連結業績予想数値に変更ありません。

(2) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料の3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の世界経済を概観しますと、米国では、住宅投資の減速と金融不安の拡大の影響により、景気の減速傾向が続きました。アジアでは、中国で好調な設備投資を中心に経済成長が継続し、ASEAN諸国も経済の拡大傾向が続きました。欧州では、経済の拡大が緩やかなものとなりました。

わが国経済は、個人消費の伸び悩みに加え、輸出が弱含みの傾向を見せ、これに伴い生産活動が減速した結果、経済の拡大が足踏み状態となりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、海外生産が欧州及びアジアを中心に増加し、国内生産も、国内向け需要の減少を輸出の増加で補い、増加しました。半導体は、IT関連機器向けの需要増を背景に堅調に推移しました。携帯電話は、アジア市場を中心に市場が拡大しました。パソコンは、アジア及び欧州向けを中心に出荷が増加しました。鉄鋼は、輸出を中心に増産基調で推移しました。国内建築関係は、民間投資が改正建築基準法施行の影響を受け減少し、公共投資も支出抑制が続く減少傾向で推移しました。

これらの環境下、当第1四半期におきましては、当社の主要顧客である自動車業界及びIT関連機器業界向けを中心とした需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は、対前年同期比1.9%増の175,599百万円となりました。

利益面では、希少金属をはじめとした世界的な原材料価格の上昇の影響を受けましたが、販売価格の見直し及び一層のコスト削減に努めた結果、営業利益は15,421百万円となりました。経常利益は、17,425百万円、四半期純利益は8,670百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①高級金属製品

当セグメントの売上高は、対前年同期比12.4%増の、79,464百万円となりました。また、営業利益は7,721百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<金型・工具鋼材料>

国内向けは、自動車向けを中心とした需要増を受けて増加し、輸出もアジア向けを中心に堅調に推移したことから、全体では増加しました。

<切削工具>

自動車向けの需要を中心に、堅調に推移しました。

<電子金属材料>

半導体等パッケージ材料は、メモリー業界の生産調整の影響を受け、減少しました。一方、液晶パネル関連材料は、アジア向けの需要増を受けて増加しました。この結果、一部製品のセグメント移管の影響を除くと、電子金属材料全体では前年同期並みとなりました。

<各種ロール>

国内及び中国向けを中心とした海外需要が好調で、増加しました。

<射出成形機用部品>

中型射出成形機向けの需要が好調に推移し、増加しました。

②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、一部製品のセグメント移管の影響もあり、対前年同期比7.6%減の42,948百万円となりました。また、営業利益は5,442百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<硬質磁性材料>

フェライト磁石が前年同期並みで推移し、希土類磁石が、ハイブリッド自動車及び電動パワーステアリングを中心とした自動車関連向け需要の好調を受け大幅に増加した結果、硬質磁性材料全体では大幅に増加しました。

<軟質磁性材料>

ファインメットが減少しましたが、ソフトフェライトが顧客の在庫調整の反動から増加し、アモルファス金属材料も、中国・インドを中心とした変圧器向け需要増を受けて大幅に増加した結果、軟質磁性材料全体では増加しました。

<携帯電話用部品>

アイソレータは、基地局向け及び端末向けが好調に推移し、増加しましたが、積層部品が中国向けを中心とした顧客の在庫調整の影響を受けて減少した結果、携帯電話用部品全体では減少しました。

③高級機能部品

当セグメントの売上高は、対前年同期比0.5%減の52,388百万円となりました。また、営業利益は2,920百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<高級ダクタイル鋳鉄製品>

国内向け需要が好調に推移し、増加しました。

<耐熱鋳造部品>

欧州向けを中心に需要が好調に推移し、増加しました。

<アルミホイール>

国内向けの需要が前年同期並みとなった一方、北米向け需要が引き続き好調に推移したことにより、増加しました。

<各種鋳物管継手>

配管材質の変化及び改正建築基準法施行の影響による国内建築の低迷の影響を受け、減少しました。

<ステンレス及びプラスチック配管機器>

国内向け需要は前年同期並みとなりましたが、米国向け需要の低迷の影響を受け、減少しました。

<内装システム及び構造システム>

内装システムは、都市再開発によるオフィス関連の需要増を受け大幅に増加し、構造システムも、設備投資が安定的に推移したことから、増加しました。

④サービス他

当セグメントの売上高は、国内販売・海外販売とも好調に推移したことにより、対前年同期比3.9%増の28,322百万円となりました。また、営業利益は749百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、運転資金の増加や減価償却費を上回る積極的な設備投資を行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ3,163百万円減少し、44,658百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、7,116百万円（前年同期比2,381百万円減）となりました。税金等調整前四半期純利益が17,423百万円（同318百万円増）となったものの、売上債権やたな卸資産等の運転資金が増加し、前年同期比で減少しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、9,351百万円（前年同期比3,078百万円増）となりました。有形固定資産の取得による支出が10,113百万円（同2,584百万円減）となったものの、有形固定資産の売却による収入が743百万円（同5,530百万円減）に減少したこと等により、前年同期比で増加しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、308百万円（前年同期比2,438百万円減）となりました。長期借入れによる収入4,182百万円（同4,182百万円増）等により、前年同期比で減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、計画に対し順調に推移しました。一方で原材料価格の変動や世界経済の動向など、景況に不透明感もありますが、平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成20年4月30日公表の予想数値に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社は、固定資産の減価償却費の算定方法について合理的な予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法により算定しております。

③ 繰延税金資産・負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算出しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、平成20年4月1日以降にリース取引開始となる契約について、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価値を零とする定額法を採用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

③ 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(会計基準等の改正以外の変更)

投資家の企業価値への関心の高まりをうけて、支払利息を支払配当金同様に資本コストと認識する企業価値算定に適した区分に合わせるため、前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に含めていた利息及び配当金の受取額を「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分に含め、利息の支払額を「財務活動によるキャッシュ・フロー」に含めることに変更しております。これらの変更により、前連結会計年度の方法によった場合と比較して、「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、541百万円増加し、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、360百万円増加し、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、901百万円減少しております。ただし、キャッシュ・フローの純額、すなわち「現金及び現金同等物」の減少額3,163百万円には、これらの変更による影響はありません。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置等の耐用年数を変更しております。この変更に伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ247百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,786	36,856
受取手形及び売掛金	125,688	123,678
関係会社預け金	8,852	10,620
製品	40,198	36,629
半製品	10,941	10,643
原材料	41,629	36,834
仕掛品	39,558	37,851
その他	21,450	23,100
貸倒引当金	△526	△479
流動資産合計	323,576	315,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,982	59,723
機械装置及び運搬具（純額）	85,166	83,800
土地	52,471	53,031
その他（純額）	17,691	18,940
有形固定資産合計	214,310	215,494
無形固定資産		
のれん	49,091	49,931
その他	5,528	5,403
無形固定資産合計	54,619	55,334
投資その他の資産		
投資有価証券	18,051	17,351
その他	17,302	17,264
貸倒引当金	△1,848	△1,709
投資その他の資産合計	33,505	32,906
固定資産合計	302,434	303,734
資産合計	626,010	619,466

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,569	98,671
短期借入金	63,004	50,981
1年内返済予定の長期借入金	19,556	20,980
1年内償還予定の社債	1,488	11,249
未払法人税等	8,633	11,942
引当金	106	294
その他	40,420	45,695
流動負債合計	238,776	239,812
固定負債		
社債	39,000	40,008
転換社債型新株予約権付社債	40,000	40,000
長期借入金	30,927	27,209
退職給付引当金	25,959	25,891
その他の引当金	4,119	4,456
その他	6,260	6,583
固定負債合計	146,265	144,147
負債合計	385,041	383,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,241	41,241
利益剰余金	168,016	161,488
自己株式	△10,591	△10,552
株主資本合計	224,950	218,461
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	465	△208
為替換算調整勘定	△6,496	△5,227
評価・換算差額等合計	△6,031	△5,435
少数株主持分	22,050	22,481
純資産合計	240,969	235,507
負債純資産合計	626,010	619,466

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	175,599
売上原価	138,976
売上総利益	36,623
販売費及び一般管理費	21,202
営業利益	15,421
営業外収益	
受取利息	167
受取配当金	106
為替差益	1,929
その他	1,887
営業外収益合計	4,089
営業外費用	
支払利息	738
デリバティブ評価損	591
その他	756
営業外費用合計	2,085
経常利益	17,425
特別利益	
固定資産売却益	105
特別利益合計	105
特別損失	
減損損失	107
特別損失合計	107
税金等調整前四半期純利益	17,423
法人税、住民税及び事業税	8,132
法人税等調整額	△159
法人税等合計	7,973
少数株主利益	780
四半期純利益	8,670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	17,423
減価償却費	7,504
のれん及び負ののれん償却額	527
受取利息及び受取配当金	△273
支払利息	738
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,582
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,723
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,479
その他	2,043
小計	18,757
法人税等の支払額	△11,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,113
有形固定資産の売却による収入	743
無形固定資産の取得による支出	△343
利息及び配当金の受取額	360
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,515
長期借入れによる収入	4,182
長期借入金の返済による支出	△2,111
社債の償還による支出	△10,483
利息の支払額	△901
自己株式の取得による支出	△39
配当金の支払額	△2,115
少数株主への配当金の支払額	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,163
現金及び現金同等物の期首残高	47,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,658

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	高級金属製品 (百万円)	電子・情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	70,992	33,192	44,947	26,468	175,599	—	175,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,472	9,756	7,441	1,854	27,523	△27,523	—
計	79,464	42,948	52,388	28,322	203,122	△27,523	175,599
営業利益	7,721	5,442	2,920	749	16,832	△1,411	15,421

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し、事業区分を行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
高級金属製品	金型・工具用材料、電子金属材料（ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用ロール・非金属圧延用ロール・非金属用ロール）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	硬質磁性材料（フェライト・希土類[NEOMAX®]・ casting・ボンドマグネットおよびその応用品）、携帯電話用部品（アイソレータ、積層部品）、IT機器用材料・部材、軟質磁性材料（ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]、アモルファス金属材料[Metglas®]）
高級機能部品	高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造製品、アルミホイール、その他アルミニウム製品、各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷却水供給装置、精密流体制御機器、内装システム、構造システム
サービス他	その他の販売・サービス等

3. 本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	123,362	19,309	23,886	9,042	175,599	—	175,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27,359	1,948	10,418	126	39,851	△39,851	—
計	150,721	21,257	34,304	9,168	215,450	△39,851	175,599
営業利益	12,842	1,712	2,083	446	17,083	△1,662	15,421

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米 ……米国

(2) ア ジ ア ……シンガポール・中国・香港・台湾・タイ・フィリピン・韓国

(3) そ の 他 ……ドイツ・英国

3. 本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北 米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	16,777	39,454	11,848	2,111	70,190
II. 連結売上高					175,599
III. 海外売上高の連結 売上高に占める割合	9.6%	22.5%	6.7%	1.2%	40.0%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米 ……米国・カナダ

(2) ア ジ ア ……韓国・中国・香港・台湾・シンガポール

(3) 欧 州 ……EU諸国

(4) そ の 他 ……中南米

3. 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 売上高の金額は消費税等抜きで表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期にかかる財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
売上高	172,371
売上原価	136,605
売上総利益	35,766
販売費及び一般管理費	23,228
営業利益	12,538
営業外収益	3,390
受取利息及び配当金	325
雑収益	3,065
営業外費用	2,459
支払利息	1,021
持分法による投資損失	66
雑損失	1,372
経常利益	13,469
特別利益	4,452
固定資産売却益	4,161
関係会社株式売却益	291
特別損失	816
事業構造改革特別損失	51
関係会社貸倒引当金繰入額	63
訴訟和解費用	35
独占禁止法違反課徴金	667
税金等調整前四半期純利益	17,105
法人税等	7,881
少数株主利益	634
四半期純利益	8,590

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	17,105
減価償却費	7,346
事業構造改革特別損失	51
関係会社貸倒引当金繰入額	63
訴訟和解費用	35
退職給付引当金の減少額(△)	△90
有形固定資産売却益	△4,308
有形固定資産処分損	166
受取利息及び受取配当金	△324
支払利息	1,021
売上債権の増加額(△)	△1,510
完成工事未収入金の減少額	215
たな卸資産の増加額(△)	△2,969
仕入債務の増加額	4,747
その他	△2,876
小計	18,672
確定拠出年金移管金の支払額	△47
事業構造改革特別損失の支払額	△51
利息及び配当金の受取額	432
利息の支払額	△993
法人税等の支払額	△8,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△14
連結子会社株式の売却による収入	780
有形固定資産の取得による支出	△12,697
有形固定資産の売却による収入	6,273
無形固定資産の取得による支出	△520
その他	△95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,273

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増加額	3,375
長期借入金の返済による支出	△4,533
自己株式の取得による支出	△723
親会社による配当金の支払額	△1,726
少数株主への配当金の支払額	△309
少数株主の増資引受による払込額	1,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	457
現金及び現金同等物の増加額	935
現金及び現金同等物の期首残高	47,020
現金及び現金同等物の期末残高	47,955

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	高級 金属製品 (百万円)	電子・ 情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	63,584	38,699	46,109	23,979	172,371	—	172,371
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,137	7,773	6,519	3,289	24,718	△24,718	—
計	70,721	46,472	52,628	27,268	197,089	△24,718	172,371
営業利益	6,065	4,758	3,511	99	14,433	△1,895	12,538

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	121,173	21,055	22,723	7,420	172,371	—	172,371
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,066	3,194	10,962	304	36,526	△36,526	—
計	143,239	24,249	33,685	7,724	208,897	△36,526	172,371
営業利益	11,193	1,498	1,341	309	14,341	△1,803	12,538

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	18,585	39,282	9,036	2,009	68,912
II. 連結売上高					172,371
III. 海外売上高の連結 売上高に占める割合	10.8%	22.8%	5.2%	1.2%	40.0%